

> 藤高生との交流会(9月3・10・17日) <

今年も旭川藤女子高等学校の1年生の皆さん、花のおじいさんおばあさんとの交流を求めて訪ねてきました。この交流会は、早いもので今年で5年目となりました。入居者様も毎年来るセーラー服を着た女学生に慣れてきて、自己紹介やちょっとしたゲームと一緒に行うと、すぐに打ち解けてリビングが楽しめます。

風船ゲームや早口言葉と一緒にしたり、質問カードを選んで「最近笑ったことはなんですか?」「樺太って知っていますか?」などたくさん生徒さんに話しかけています。おやつの時は会話を楽しみ、高校生から「おいくつですか? ボイフレンドはいたんですか?」と質問され、「何歳だと思う? 99! こんな私でも拾ってくれる人いたのアハハ

ハ…」など、楽しそうに話され、男性は「若い女の子が隣に居ると、やっぱり顔も違うだろう!」と笑い、カメラを向けると高校生に「一緒に取るぞ」と言って喜ばれています。どの方も若い子と話すととてもパワーを貰えるようです。生徒さんが帰る時には、玄関や窓際まで行き「また来てねー」と気持ちよく見送られていました。



> ラーメン(9月5・7・8日) <



入居者様は、人によっては新聞や広告を見ながら世界情勢などは横目に、常に安いお得意商品をさがして献立や食材を選ぶことがよくあります。毎年二回ラーメンを安く食べることができます。折り込み広告があり、入居者は見逃さずに「ラーメン38円、行こう! 美味しいラーメンを食べたい!」としっかり施設長に交渉しています。五日間安売り期間があるので3回に分けて車で行ってきました。車の

中でも「ラーメンだけは家では作れない、おいしいラーメンは無理だよ!」と言いつつも、皆さんとても楽しみに向かっております。店に入ると味噌、醤油、塩など、好きな味のラーメンを頼み、「これ食べたことないね・・・」と五目ラーメンを頼まれる方、「ラーメンは好きじゃない! 薙麦がいい!」と卵どちらんかけ蕎麦を頼む人など好きなものを注文しています。もちろん皆さん「うまいなー」と舌鼓を打っていました。

満月は毎月訪れます。9月の満月は昔から「中秋の名月」と呼ばれ、風情を感じさせるものです。花でもススキを飾り、皆さんでカボチャの団子を作り雰囲気を盛り上げています。午後から職員が紙芝居『食べられた山姥』を行い「紙芝居なんて懐かしいねー」と言いながら真剣に見ていきました。またうたを歌ったりしながら



> 緑の森ガーデンのお祭り(9月22日) <

春に白樺樹液まつりがあった公園に希望者を募り遊びに行ってまいりました。森の中の会場には、いくつもの店が並び、食べ物やグ

ッズなどが売っています。つまみ程度のお菓子を買ひ、プロの紙芝居を見ながら秋の清々しい雰囲気をみなさんで味わってきました。

「気持ちいいねー」と、肌寒い日でしたががみなさん元気です。子供たちもたくさんいたので入居者様も目を細めて「あれ、何かやってま

すよ! カわいい子だこと!」としぐさを見られて話されていました。この日はちょっとした憩いの時間が作れたようです。



お誕生日おめでとうございます

9月20日 [redacted]さん

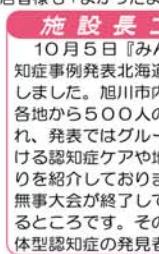
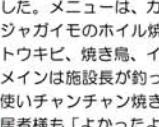
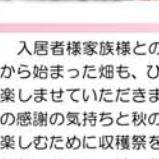


94歳のお誕生日

この日は眼気が強く誕生日の紹介や歌をうたい進行しましたが起きられず、後ほどお部屋でプレゼントと色紙を渡すと「あーそうなんだ、そんなになつたんだ、いやー有難い、大事にします」と喜んで受け取って頂きました。その後スタッフが居室をのぞくと「ありがとう ありがとう・・・」と何回も何回も言われてプレゼントを見せていました。

> 十五夜(9月19日) <

楽しく時間を過ごし、おやつはカボチャ団子を食べてあります。入居者様は、イモやカボチャなどの穀物類が好きなので「これ美味しいなー」と言われ好評でした。毎年十五夜は、雲ったり雨が降ったりと、お月様を見ることができずいましたが、この日の夜空は、数年ぶりに晴れ渡り、素敵なお月見日和となっております。



敬老会(9月14日)



収穫祭(9月14日)



施設長コラム

10月5日『みんなで考える認知症事例発表北海道大会』を開催しました。旭川市内をはじめ道内各地から500人のみなさんが訪れ、発表ではグループホームにおける認知症ケアや地域とのかかわりを紹介しております。なんとか無事大会が終了してホッとしているところです。その時にレビューハンドブック認知症の発見者である小阪

いのとれたんだね~!』「今年も楽しましてもらった(畑)」「おいしいもののばっか食べて長生きせんとね」「こんなのどうもありがとう」と家族との団らんも含めとても嬉しそうです。

ちなみに施設長が釣った鮭の釣果は5匹でした。

憲司先生をお招きして基調講演をして頂きました。懇親会などもあり、いろいろお話しさせていただいのですが、世界的にも有名ですし、横浜大学の名誉教授や開業医でもある先生ですが、お話をしながら感じたことは、話をする人と同じ目線で話されていることがとても印象的でした。ご講演を頂いた時も認知症のことを話す時も世間話をされる時も、話される姿

勢が伝わってきます。クリニックで認知症の患者さんを初診で見るときは、最低でも2時間以上かけてみていくこと、週に一度認知症の家族会の皆さんと話をしながら感じたことは、話をする人と同じ目線で話されていることがとても印象的でした。ご講演を頂いた時も認知症のことを話す時も世間話をされる時も、話される姿

なったらこのような先生に見ていただきたいと感じたほどでした。

